

平成23年 第1回

教育委員会定例会会議録

平成23年1月12日

中央区教育委員会

平成23年第1回教育委員会定例会会議録

開会日時 平成23年1月12日(水) 午後4時00分

場 所 中央区役所6階会議室

出席委員 中央区教育委員会委員長 松川昭義
委 員 永嶋久子
委 員 鈴木ゆか
委 員 竹田圭吾
教育長 高橋春雄

説明のために出席した事務局職員

次 長 新治 満
庶務課長 田野則雄
副 参 事 遠藤 誠
学務課長 長嶋育夫
指導室長 和田利次
統括指導主事 佐藤 太
統括指導主事 山崎 隆
図書文化財課長 濱田 徹

書 記 中央区教育委員会事務局

庶務係長 印田広一
庶務係員 渡邊和歌子

開 議 午後4時00分松川委員長開会宣言

会議規則第30条による署名委員

委員長 松川昭義
委 員 鈴木ゆか

日程第1 報告事項
各課事業報告について

委員 長 今年初めての顔合わせです。皆さん、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいいたします。また、今年も活発なご議論をお願いいいたします。

それではただいまから、平成 23 年第 1 回教育委員会定例会を開会いたします。初めに、本日の会議録の署名委員を指名いたします。本日は、鈴木委員をお願いいたします。

本日の日程に入ります。日程第 1、報告事項について順次報告願います。

指導室長 「平成 23 年区立学校の卒業式等の日程」について資料 1 により報告

図書文化財課長 「意見・要望」について資料 2 により報告

委員 長 ただいままでの報告につきまして、ご質問等がございましたら伺います。
(「なし」の声あり)

委員 長 ないようですので、私から 1 つ伺います。郷土天文館のサポーターというのは、何か資格があるのですか。

図書文化財課長 区民カレッジのなかに「文化財サポーター養成コース」というのがありまして、それを卒業した方にサポーターになっていただいております。

委員 長 わかりました。

ほかにいかがでしょうか。ご質問等ないようであれば、これで本日の日程は終了いたしますが、そのほか委員の方々からご意見等がございましたら、お伺いをいたします。

教育 長 それでは、私から最近の動きなどをご報告という形でお話しさせていただきます。

まず、平成 23 年度の予算についてであります。現在、予算案の確定に向けた作業を行っておりまして、2 月早々にはプレスという運びになります。追って教育関係の予算につきましては、区長部局から意見照会がありますので、例年どおりこれに答える形で予算が編成されていくという形になります。

そこで、予算に関連して区をめぐる大きな動きとして幾つかお話しをさせていただきます。

1 点目は、すでにご案内のことと存じますが、少人数学級についてであります。国もいよいよ 35 人学級に踏み込むということで、予算案の中には織り込んでおりますが、今後、学級編制や教職員定数に関する法律を改正して、平成 23 年度につきましては小学校 1 年生のみが対象となります。当初の計画では 2 年生まででしたが、いろいろな折衝の関係でこのようになったと聞き及んでおります。

東京都教育委員会からはまだ詳細な通知等はありませんが、法案の可決など国会の動きもありますので、今後も注視してまいりたいと存じます。

しかし、これに関連して気がかりなことは、新聞報道ではありますが、少

人数学級にしますと当然先生を増やす必要がありますが、今のところ見込まれている増員は日本全体で300人だけです。残りにつきましては、以前にも少しお話しいたしましたが、加配教員（基準より多く学校に配置されている教員）1,700人で不足を賄うということです。そうなりますと実質的には先生が増えないこととなります。これでは現場は大変困ります。具体的には学校の規模等によって加配の数も違いますので、まだはっきりしませんが、少人数学級の実施に向けて、区市町村にとってはこれは大きな課題であると認識しております。これから都の教育委員会と話す機会もありますので、その辺はしっかりと質していきたいとは思っております。

それから、全国学力テストが抽出となったことはすでにご案内と存じます。これまでは全学年悉皆でやっていましたが、その後抽出ということになりましたので、都の教育委員会ではそうしたことも踏まえ、都独自で国語、算数、数学(中学生)、社会、理科、外国語(中学生)について学力調査を小学校5年と中学校2年を対象に平成23年度から実施したいという話がきております。

この件で何が問題になっているかと申しますと、そのやり方についてです。従前は採点について全部委託でやっておりましたが、今回東京都は学校の先生が採点を行う自校採点方式でやろうと考えております。いろいろと協議を行った結果、平成23年度については都の教育委員会の責任で採点からすべてやるが、あわせて各区市町村においてもできる範囲で自校採点を行ってもらえないかという折衷案的な方向で、今、整理が進められております。具体的な方法等についてはこれから話し合っていく形になります。

このほか東京都が力を入れているのは、体力、運動能力です。現在これが低下傾向にあるので、体力向上策を積極的に推進していこうという動きがあります。

それから、平成23年度につきましては、新学習指導要領が小学校に全面適用となり、次いで平成24年度から中学校が全面適用になります。そして、平成23年度は中学校の教科書の採択事務があり、大変ボリュームがあつてご面倒をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。私からは以上です。

委員長 ありがとうございました。

ただいま教育長からいろいろご報告がありましたが、中央区の場合は、実質的には35人というか、少人数の学校が多いですね。

教育長 実質的にはそのような状況ですが、学校あるいは学年によっては、35人を超えているケースもあります。しかし、平均すれば少人数学級に近い形になっています。

学務課長 少し補足をいたします。本区の場合、平均しますと恐らく30人をちょっと切ると思います。しかし、人口急増地区などは徐々に増加していくことが予

想されます。

指導室長 先ほど教育長から教員の定数の話がございましたが、東京都はまだ 35 人学級についての結論が出ていないのが実情なのですが、現在は文部科学省の指導により少人数指導をやりなさいということで各学校に教員が加配され、それを算数や国語などの教科において少人数指導として活用しております。

昨年ご視察をいただきました秋田県では、専科の先生の配置枠にそういった教員も含めて少人数指導を実施しております。今回国は、そういう加配の教員も全部引き上げて、それで再度 35 人学級の割当にしようということであり、東京都もそれを受け、今後どうするかということはまだ決まっていないということでございます。

中学校は早くも結論が出まして、35 人学級は実施しないことになりましたので、定数加配がついた分は戻ってまいりました。しかし、小学校につきましては、現在 11 校に定数加配がついております。それらは今回引き上げられている状況でございます。これがそのまま戻ってくるかどうかというところは、まだ結論が出ておりません。仮に戻ってきた場合であっても、何人戻ってくるかという点は非常に微妙なところでございます。

教育長 要するに全都的に調整が行われますので、全都的に少人数学級を実施するために不足が生じれば、中央区の加配分を持っていかれるおそれがあるということですか。

委員長 それは今年の 4 月配置になるのでしょうか。

教育長 時間的にはかなりきつい感じがします。

委員長 ほかにご意見等がございますか。ないようであれば、私からもう 1 件お願いいたします。

教育委員会の定例会で話題にするのが適切かどうかとも思いますが、先日行われた成人の日記念式典「新成人のつどい」に私たち教育委員も全員出席しているのですが、あれでいいのかなあという思いを抱いております。懇親会としては、二十歳になった若い人たちが久しぶりに会って楽しく騒いでいること自体は私はそれでもいいと思っています。つまり、あの雰囲気の中に区長さんの挨拶などの式典を持ち込むのが無理なのではないでしょうか。やはり、式典と懇親会をきちっと分ける必要があると思います。今回も初めのうちは厳粛な雰囲気でしたが、徐々にやかましくなってきました。私は、実際 2 時間あそこに座っているのは苦痛です。周囲の方も同じような話をしていました。昨年もお話しましたが、何かもう少し違った形にしてもらいたいと思います。やはり、税金を使っている事業なので、もう少しお互いに自覚を持つべきだと感じました。

ただ、最後に壇上で照れながらも親に挨拶をする姿などを拝見すると、個

人的にはおとなしい素直な子が多いんですね。ですから、彼らは指摘してあげるとちゃんとわかると思うのです。そういう意味では教育といえますか、「こういうことはいけない」「マナーとしてだめ」ということをどこかの場で教えていくことも必要なのでしょうか。

永嶋委員　テレビ等での情報ですが、都会の成人式というのはどこも似たり寄ったりですね。どちらかというとお祭り騒ぎという感じで。しかし、地方の数が少ない地域の成人式を拝見すると、非常に厳粛でいいなと感じるものが今年も幾つかありました。それに比べると中央区の成人式はちょっと幼いと感じました。実際のところどうなのでしょう。あれが本当に一つの思い出になるのでしょうか。

竹田委員　率直に申し上げると、ちょっとひどいと思いました。委員長がおっしゃったように、あれは式ではなくて「つどい」だからなのでしょう。

委員長　でも、式典はやっているんですね。

竹田委員　ですから、集いであれば、委員長がおっしゃったように、式典の部分は最初から切り離すか、外すか、または区長さんのご挨拶は別な場でやるか、あるいは書面等で頂戴するかなど、やり方はあると思うのです。正直、ああいう空間の、ああいう状況で国歌を歌っているときに、あれだけ若い方が話しているというのは、他の国ではあり得ないと思います。

委員長がおっしゃったように、最初に一言それなりに説明をしてあげれば多分、彼らはちゃんとわかると思います。しかし、あれだけ大人が周りにいる場で、それをだれも注意しないというのは、最終的には彼らのためにもなりません。もっと大きくなってから恥をかくのではという気がしました。

日本で一番多いといわれる横浜市では2万人が横浜アリーナに行きます。取材に行った方に聞いたところ、横浜市は式典としてやっているようですが、2万人の二十歳の若者がいてもみんな静かに市長さんの挨拶を聞いていたということでした。ですから、やはりやり方の問題なのかなという印象を個人的には持っております。

鈴木委員　昨年もお話しましたが、聞いたところ実行委員として選ばれた方が5月ぐらいから準備を始めているということなんですね。二十歳の若者たちだけでいろいろと決めていくということは大事なことはと思いますが、もう少し大人の方がアイデアを出し、もう少しこういうふうにした方がいいというようなことを教えてあげる必要があると感じます。当日は、30分ぐらいずっと自分たちが生まれた頃からの音楽を流していましたね。例えば、そこに自分たちがしてきたことを映像で流すというような工夫はないのでしょうか。ただ、その歌手が歌っているところを流しているだけではどうも。

それからクイズです。これも昨年申し上げましたが、問題があまりにも幼

稚だと感じます。せっかくあのような場であれだけの機材を使っているのですから、もう少しやりようがあるのではないのでしょうか。

さらには景品です。中央区はこうしたものに大変お金をかけていますね。私も以前ミス中央の審査員をお受けしたときに感じましたが、景品がすばらしくいいんですね。すべて区で用意しているのかはわかりませんが。ですから、「こんなにいいものが当たります」という感じで大いに盛り上げようとしていることはわかります。しかし、どれをとってもお金がかかっているわりには、子どもたちの資質が低下しているような気がしてなりません。やはり、この辺でちょっとこ入れも必要ではないのでしょうか。実行委員のメンバーの中に大人の方も入れて、少しアイデアを出してあげるといような形にはできないのでしょうか。

それから、一番前の真ん中のテーブルで、男の子が区長さんのご挨拶に背を向けてテーブルに座っていましたね。さすがに青少年委員の一人が注意をなさいましたが、私も注意に行こうと本当に思いました。

テレビ等で荒れた成人式が報道されますが、もしかすると「あれに比べればまだまし」という考えがどこか私たちの意識にあって、これぐらいならまだいいほうだねと感じていること自体がおかしいと思うのです。それは、比較するところがまったく違います。やはり、セレモニーは私語厳禁とか、そういう約束事みたいなものしっかりと皆に伝えるというようなことから実行委員会としてやるべきではないのでしょうか。第2部の乾杯が始まれば、せっかくのパーティーですので多少にぎやかになるのはいいと思います。

丸いテーブルでもう立食の形になっていますが、せめてセレモニーのときは椅子を並べてきちっと前を向いて座らせることはできないのでしょうか。厳しいようですが、もう自覚には頼れないと思うので、何かやり方を変えたほうがいいと思います。

永嶋委員 儀式として、整然と区長さんのお話をきちっと聞くという形にするのであれば、今のレイアウトではだめだと思います。あれでは、はっきり申し上げて「話を聞くという姿勢」がレイアウトのときからできていないと思います。ですから、「国歌」をまるで流行歌のように手拍子とって人も出てくるのではないのでしょうか。これには本当にびっくりしました。私も今のやり方では難しいのではないかと思います。やはり、根本的に変える必要があると感じました。

委員長 こういういろいろな意見が教育委員会定例会で出されたということ、区民部のほうにぜひ報告していただき、来年は品位のある中央区の成人式を期待したいと思います。

ほかにご意見等がございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長　それでは、これで本日の委員会を閉会します。本日はありがとうございました。
した。

午後4時30分　松川委員長閉会宣言

署名委員